

児玉隆也 たけがき 評論家。昭和十一年五月七日兵庫藤生れ、五十年五月二十一日歿（元七〇七五）。早稲田大學第一政経学部卒。光文社入社、四十七年退社。四十九年雑誌「文藝春秋」に「淋しき越山会の子王」を發表、また隆の「田中青兎研究」と共に田中内閣崩壊の端緒となるが。

著書「君は天皇を見たか」「テンノウハイカバンザイ」の現場検証（昭和五十年）二月十日新潮出版社「ゼロ・ブックス」、コー銭五厘尺ちの横丁」（写真・桑原甲子雄、昭和五十年二月二十五日晶文社）、この二十年の日本人」（昭和五十年七月十五日新潮社、再刊・五十八年九月二十五日「新潮文庫」）、コテレビ見世物小屋」（昭和五十年八月二十日ぶんぽう社）、コガン病棟の九十九日」（昭和五十年九月十日新潮社、再刊・五十五年十一月二十五日「新潮文庫」）、「現代を歩く」（昭和五十一年二月十五日新潮社）等。



児玉隆也 ガン病棟の九十九日

ガン病棟
ここは現代の戦場
明日を信じ
今日を精一杯生きるだけだ！

名レボーク
最後の作品！
新潮社

240文
ユリロウ

未発表原稿ノートと夫人の手記を併録